

女性視点でニーズ追求

岡山県内の企業で女性社員の視点を生かして顧客ニーズを追求する取り組みが活発だ。各社は新たな収益の柱にしようと、働く女性や子育て中の母親に向けて新たな商品やサービスを展開している。

医療用品メーカーのダイヤ工業 ようにしておしゃれ心に訴える。

(岡山市南区古新田)は今春、建設現場で働く女性用の全身サポーターを投入した。上下セパレート型で、首回りから足首までを伸縮性の高い

岡山県内企業

生地で覆う。開発部の女性社員が、大手ゼネコン・竹中工務店の女性技術者の意見を基に開発。男性用を改良し骨盤のゆがみの補正機能を強化した。カラーは黒とグレーの2色だが、ステッチの色を8色から選べる

勢を保つといったニーズや好まれる生地の肌触りが分かる上、自分たちで試着できるので開発のスピードアップにつながる」とする。

6月に育児雑貨の新ブランド「キツカフォーマザー」を設けたのは教材製作の協同プレス(同新保)。紙雑貨などを手掛ける新事業開発室の女性社員3人が、フォトフレームとしても使えるバースデーカードなど6種類を商品化した。

このうち誕生日会用のお祝いセツ

ダイヤ工業の女性社員が開発した建設現場で働く女性向けの全身サポーター

おしゃれ心や実体験活用

協同プレスの女性チームが企画した雑貨ブランド「キツカフォーマザー」



トは、フェルト製王冠や壁飾りなど7点の詰め合わせ。「自分の娘を記念撮影するときにグッズを探し回って大変だった」(橘栄衣室長)との経験から発案した。同社は「実体験に基づいているのでニーズを的確につかめる」と初年度の売り上げ1千万円を目指す。

「女性は消費に積極的。喜んでもらえる企画を用意することで、ホテルの利用増につなげたい」と話すのは、岡山国際ホテル(同市中区門田本町)の大森りえ企画部アシスタントマネージャー。昨年9月から1室にお菓子をプレゼントするなど随所に女性の意見を生かしている。

お茶が楽しめるプランを提供、女子会などで月に1、2回程度の利用があるという。

通常2人で1泊28万円超の部屋が、予約の入っていない日の日中4時間に限り4〜8人で使え、料金は1人当たり5千円。「女性は特別感を大切に。わずかな時間でも需要はある」と女性社員の提案が採用された。

運輸や流通業など約50社の両備グループ(同市北区錦町)は2012年から毎年、女性従業員約2500人から立候補制で5人前後のチームを選抜。グループのスーパーやホテルを覆面調査してサービスをチェック、商品企画も行っている。

このうち13年から始めた女性向けバスツアーは、3コースで計6回実施しており、今年は閑散期の2月に神戸を巡る新商品を用意した。若い女性を狙いにバレンタインをテーマに設定。女子会やデートでの利用を呼び掛け、計2回で54人が買い物やグルメを楽しんだ。ツアーは主婦でも参加しやすいように日帰りが基本